



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2023. 3. 24 号

文責 小西



「令和4年度 修了式」

3月24日(金)、たくさんの思い出が詰まった令和4年度、今日、無事に「修了式」を迎えることができました。校長式辞では、本田勇人校長先生が式辞として次のことを述べられました。

～ 修了式 式辞 ～

3学期となり、新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザの流行も心配しながらの生活でしたが、大きな影響もなく、予定していたいろんな活動が無事実施できたことに心から良かったと思っています。そして、今日の修了式を1、2年生のみなさんが一堂に会して、迎えられたことをともに喜びたいと思います。

ただいま、1、2年生の代表の方に、修了証書を授与させていただきました。この「修了証書」は、学年の教育課程を修了し、次の学年へ、進級できるということを証明するものであり、卒業証書と同じように大切なものです。みなさん一人一人が、学年の教育課程を修了し、次の学年に進級できることを心よりお祝いしたいと思います。進級おめでとうございます。

さて、3学期のスタートにあたり、みなさんには次のようなお話をしました。『「辛抱と寛容」の気持ちをもって取り組み、「集団でできること」から「一人一人ができること」へと、もう一步前へ、もう一步の「高み」を目指した取組を期待したい。そのためには、次へのステージへ「備える」ことが大切である』と話をしました。

この3学期には、1、2年生は各学年でしっかりと次へのステージへの備えができたものと確信しています。

それは、私が、そう感じたのは、何といっても、先日巣立ちの日を迎えた、3年生の卒業式。卒業式に向けての取組や当日の式場での態度に、みなさんのすばらしさを感じました。2年生は、力を合わせて会場設営に取り組んでいただき、巣立ちにふさわしい厳格な会場を作り上げてくれました。1年生は、巣立ちを迎える卒業生が過ごす最後の校庭や校舎、教室を磨き上げ、巣立ちゆく卒業生の教室を、心を込めて飾り付けてくれました。

卒業式では、凜とした静寂の中で、証書を受け取る卒業生一人一人の姿をじっと見守り、盛大な歌声や心のごもった大きな拍手で卒業生の巣立ちをお祝いするとともに、全校生徒で心ひとつにして歌い上げた「校歌」は、聞くものの心を打ちました。

「巣立ちゆく卒業生を心からお祝いして送りだそう。」その「人として大切にしなければならないことを大事にすること」そのことを、みなさん一人一人がよく理解し、行動できていることが大変すばらしかったと思います。

このことは、令和4年度の素晴らしい締めくくりとなったとともに、それぞれが、上級学年となる、この4月からのみなさんの活躍が大いに楽しみとなる出来事でもありました。本当に、ありがとう。そのような姿勢は、どうか、これからも継続して、もっともっと「高み」をめざしていきましょう。

さて、明日から春休みとなります。とても、短い期間ではありますが、4月からいよいよ次の学年へその活躍の場を移す、新たなスタートとなるその準備の大切な期間でもあります。4月からの生活では、特に新型コロナウイルス感染症の分類も、いよいよ「2類」から「5類」へと見直しがなされ、これまで以上に、いろんなことができるようになる期待感もあります。

そんな4月からの期待にあふれた生活のために、ぜひ、今一度、「備える」ことをお願いしたいと思います。「4月のいいスタートに、備える」。

一方では、新しい年度を迎えるにあたり、期待とともに、大きな不安を感じている人も多いことだろうと思います。新年度は、新たな出会いと、新たな環境での生活となります。そのことに不安を感じることは誰にでもあることです。そのような大きな不安を感じることがあれば、どうか、先生方や家族に打ち明けてほしい。そして、その不安をできるだけ小さくして、4月からのよいスタートのための準備としてほしいと思います。

どうか、春休みには、新しい年度のスタートへの不安を取り除き、心も体も健康な状態で新学期を迎えてほしいと思います。

では、次にみなさんとお会いするのは、始業式4月7日となります。始業式の日には、新年度への希望と決意にあふれたみなさんとお会いできることを心より楽しみにして、あいさつとします。

令和5年3月24日 長崎市立山里中学校長 本田勇人



「修了証書授与」の様子です。



生徒代表の言葉

1年6組 川島虎太郎さん

この1年間で心に残ったことは、「体育大会」(学年種目と全員リレーで1位をとることができたこと)、「合唱コンクール」(たくさん練習して本番が一番上手に歌えたこと)です。学級の仲間と出会い、仲良くなり、とても充実した時間を過ごすことができました。4月からは2年生。新しい出会いを楽しみにし、新しい仲間と協力しながら学校生活を送りたいです。



2年6組 瀬戸島彩華さん

学校のリーダーとして自覚と責任が求められる立場となりました。この3学期、学年として成長できたところは、「時間に対する意識の高まり」(生活面)と「学習に対する取組方」(学習面)です。反省すべきところは、「提出物の期限を守る」「あいさつ」です。「最高学年＝山中の顔」、3年生になる前の春休みに、今できていないことや大事にしなければならないことを考え、頑張っていきたいです。



離任・退任される先生方です。

職名	氏名	転出校等
主幹教諭	中村 芳勝 先生	長崎市立小江原中学校(教頭に昇任)
教諭	栗屋しおり 先生	長崎市立岩屋中学校
教諭	福島 宣男 先生	長崎市立外海中学校
教諭	北野 理恵 先生	長崎市立三重中学校
教諭	中尾 賢志 先生	長崎市立香焼中学校
教諭	中村 明暉 先生	諫早市立北諫早中学校
教諭	佐藤 慶子 先生	退職(再任用)長崎市立岩屋中学校
学校図書館司書	山村 智子 先生	長崎市立三川中学校
教諭	高西美智子 先生	退職
支援員	西岡見佐子 先生	退職

このたびの人事異動で、多くの先生方が離任・退任されることになりました。本校勤務が14年間の方から1年間の方まで、全部で10名の先生方です。学級経営や、部活動の指導、図書室経営、特別支援教育など、本当にお世話になりました！ありがとうございました！！



離任式の様子です。10名の先生方、本当にお世話になりました！

明日から春休みです。(校長先生のお話の通り) 4月からの新しいステージに向け、それぞれが「準備」をする期間となります。新しい出会い、新しい発見など、4月からも楽しみです。始業式は4/7(金)、入学式は4/10(月)です。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。